

	番号	設問項目	R 7	R 2	H27	R 7 項目方向性	県
属性	F 1	あなたの性別	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：女性、男性、その他 (答えたくない方は記入不要です)
	F 2	あなたの年代	項目変更	○	○	「10～20歳代」を「18～20歳代」 ※調査対象が18歳以上の市民であるため。 また、経年比較の継続性を優先し、県と同じ区分とはしない。	県：18・19歳代と20代を分けている。
	F 3	あなたの職業	項目変更	○	○	「勤め人（正社員・正職員）」を「雇用者（常勤・フルタイム）」 「勤め人（契約社員・派遣職員）」を「雇用者（契約社員・派遣社員）」 「勤め人（パート・アルバイト）」を「雇用者（パート・アルバイト）」 「家事専業」を「専業主婦・専業主夫」※性別を限定しない表現を用いる	県：雇用者（常勤・フルタイム） 雇用者（パート・アルバイト） 専業主婦・専業主夫 ※そのほかの分類省略
	F 4	配偶者の職業	項目変更	○	○	F3と同様に変更 「（配偶者がいらっしゃる方におたずねします）」を削除 ※多様な回答者が回答しやすくなる 「配偶者の職業」を「配偶者（パートナー）の職業」 ※多様な関係性の主たる生計者の職業も回答対象に含める意図が明確になる 「配偶者（パートナー）はいない」を追加 ※令和2年度調査報告にある「（注）不明は無回答で、配偶者がいない人を含む。」という部分を解消し、明確なデータ収集が可能	県：令和元年調査では配偶者がいる方だけの回答であり、パートナーに関する記述はなし。令和6年調査から新たに追加した。
	F 5	あなたの家族構成	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：項目なし
用語・制度	問 1	男女共同参画に関することがらや言葉を知っていますか。	項目変更	○	○	社会的な関心の高まりや市として審議会等における女性委員の登用率に注力していることから新たに追加 F DV（配偶者からの暴力） G ポジティブ・アクション（積極的改善措置） H ダイバーシティ（多様性） I アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見） (*5) DV（ドメスティック・バイオレンス） 配偶者や恋人など親密な関係にある者から振るわれるからだや心に対する暴力で、その暴力によって相手を支配（コントロール）しようとするものです。人権侵害であり、犯罪です。 (*6) ポジティブ・アクション（積極的改善措置） 男女が、社会の対等な構成員として、自身の意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会に係る男女間の格差を改善するため必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、当該機会を積極的に提供することをいいます。たとえば、審議会について、女性委員の登用を計画的に進めていくことなどもその一つです。 (*7) ダイバーシティ（多様性） 性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会といいます。 (*8) アンコンシャス・バイアス 誰の心にもある知らず知らずのうちに持っている思い込みのことで、「無意識の偏見」という意味の言葉です。男女格差が解消しない原因の一つに、「無意識の偏見」がもたらす影響があります。	県：男女雇用機会均等法 削除 ダイバーシティ（多様性） 追加 アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）追加

	番号	設問項目	R 7	R 2	H27	R 7 項目方向性	県
男女平等感	問2	男女平等になっていると思いますか。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：回答に対する原因が男性優遇なのか女性優遇なのかを直接は問わない表現
性別役割分担意識	問3	「男は仕事、女は家庭」というような、性別によって役割を固定する考え方について、どう思いますか。 A～Gそれぞれについて該当する番号を選択。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：単に「性別によって役割を固定する」という表現に変更
	問3-1	問3で「①賛成」または「②どちらかといえば賛成」と思う理由	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：項目なし
	問3-2	問3で「③どちらかといえば反対」または「④反対」と思う理由	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：項目なし
	問4	在宅介護の場合、誰が行うのが良いと思いますか。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：項目なし
地域社会における活動について	問5	地域活動の参加状況について、どれにあてはまりますか。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：項目なし
	問5-1	次のような活動に参加したことがありますか。今後参加してみたいと思う活動がありますか。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：現在参加している活動を選択し、活動方針・活動計画に意見が反映されているかを問う内容
	問5-2	問5で「②地域活動に参加していない」「③地域活動に参加したいが、できない」理由は何ですか。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：「参加していない」人のみを把握する項目 R1調査では参加していない理由も問う内容
	問6	自治会（区や公民館）の長、PTA会長などの方針決定過程に女性の参画が少ないのはなぜだと思いますか。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：「地域で活躍する女性のロールモデル（行動や考え方の模範となる人物）がないから」の項目あり

	番号	設問項目	R 7	R 2	H27	R 7 項目方向性	県
政策・方針決定	問7	佐久市議会の女性議員の割合、市の審議会の女性委員の割合についてどう思いますか。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：項目なし
	問8	政策・方針決定の場に、女性が増えることで何を期待しますか。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：同じ項目
防災・災害復興	問9	防災・災害復興対策において、男女共同参画の視点からどのような取組が必要であると思いますか。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：項目なし
ワーク・ライフ・バランス	問10	「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について、あなたが理想とする生活に近いものはどれですか。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：同じ項目
	問11	「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について、あなたの現実の生活に近いものはどれですか。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：同じ項目
	問12	女性と男性がともに仕事、家庭、子育て、介護、地域活動等に積極的に参加していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。	項目変更	○	○	②「女性の抵抗感をなくす」を削除 この項目を選択した割合が全体の7.9%であり、男性の社会参画を阻む要因という認識が低い。令和2年調査では問題意識が一定程度存在したのかもしれないが、社会全体で男性の家庭内参画への理解が深まるにつれ、問題の焦点が「女性の抵抗感」よりも「男性側の意識変革」「職場の理解」「社会の仕組み」といった、より構造的な課題に移ってきた可能性がある。	県：R1年調査「男性が家事・育児などに参画することに対する女性の抵抗感をなくすこと」削除
男女間の暴力への対策について	問13	地域や職場などで、ハラスメントを受けたことがありますか。された人を知っていますか。	項目変更	○	○	選択肢を明確にするため以下のように修正 ①ハラスメントを受けた経験がある（被害者） ②ハラスメントを行った経験がある（加害者） ③もしかすると、ハラスメントを行ったことがあるかもしれない（加害者） ④ハラスメントを受けた人を知っている（被害者を知っている） ⑤ハラスメントを行った人を知っている（加害者を知っている） ⑥いずれも無い	県：項目なし
	問14	配偶者や恋人など身近な人から、DVを受けたことがありますか。された人を知っていますか。	項目変更	○	○	問1にDVの用語に関する項目を追加したため、解説を削除 選択肢を明確にするため以下のように修正 ①DVを受けた経験がある（被害者） ②DVを行った経験がある（加害者） ③もしかすると、DVを行ったことがあるかもしれない（加害者） ④DVを受けた人を知っている（被害者を知っている） ⑤DVを行った人を知っている（加害者を知っている） ⑥いずれも無い	県：項目なし

	番号	設問項目	R 7	R 2	H27	R 7 項目方向性	県
男女間の暴力への対策について	問15	「あなたはDV被害にあったとき、市に相談窓口があることをご存知ですか。」	○	○	×	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：同じ項目
男女間の暴力への対策について	問16	性犯罪、DV、セクハラなど、女性に対する暴力への対策として、どのようなことをしていったら良いと思いますか。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：項目なし
困難な問題を抱える女性への支援について	問17	あなたの身近に、困難な問題を抱えている（と思われる）女性はいますか。	新規	×	×	<p>【困難を抱える女性に対する支援】について解説追加 困難な問題を抱える女性 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」令和6年施行 女性が日常生活または社会生活を営むにあたり、女性であることにより様々な困難な問題に直面することが多い。「困難な問題を抱える女性」とは、性的な被害、家庭の状況、地域社会との関係性その他の様々な事情により日常生活又は社会生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える女性（そのおそれのある女性を含む）をいいます。</p> ① はい ② いいえ ③ わからない	県：項目なし
	問18	女性が困難な問題を抱える背景や原因として、どのようなことが考えられると思いますか。	新規	×	×	① 性別役割分担意識 ② 経済的格差 ③ 地域での孤立 ④ 情報不足 ⑤ 支援機関の不足 ⑥ 本人を取り巻く状況（心身の健康、人間関係など） ⑦ その他（具体的に）	県：項目なし
	問19	もしあなたが、あるいはあなたの周りの女性が、困難な問題を抱えた時に、どこに相談しようと思いますか。	新規	×	×	①市役所の相談窓口 ②長野県女性相談センター ③警察 ④病院・医療機関 ⑤弁護士 ⑥民間支援団体 ⑦友人・知人 ⑧家族 ⑨誰にも相談しない ⑩その他（具体的に）	県：項目なし
	問20	佐久市が、困難な問題を抱える女性への支援に関して、特に力を入れるべきだと思うことは何ですか。	新規	×	×	①相談窓口の充実 ②専門的な人材の育成 ③民間団体との連携強化 ④広報啓発の強化 ⑤一時保護施設の充実 ⑥就労支援の強化 ⑦男性の意識改革 ⑧その他（具体的に）	県：項目なし

	番号	設問項目	R 7	R 2	H27	R 7 項目方向性	県
男女共同参画社会の実現	問21	男女共同参画社会は実現できたと思いますか。	○	○	×	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：項目なし
	問21-1	問21「③ あまり実現できていない」「④ ほとんど実現できていない」と回答した方におたずねします。男女共同参画社会が実現できていない要因として、どのようなことが考えられますか。	新規	×	×	問21で把握した実現度合いの背景にある市民の意識や、今後の期待をより詳細に捉えるため追加 ① 性別による固定的な役割分担意識が根強く残っている ② 職場や地域社会で、女性が活躍できる機会や場が少ない ③ 育児や介護など、家庭的な責任が女性に偏っている ④ 政策決定の場に女性の意見が反映されにくい ⑤ 男女間の経済格差が大きい ⑥ ハラスメントや暴力など、女性に対する不当な扱いがある ⑦ その他（具体的に） ⑧ 特になし	県：項目なし
	問22	男女共同参画社会づくりを進めるために、佐久市はどのような施策に力をいれていくべきだと思いますか。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：同様の項目あり
	問23	男女共同参画についてご意見がありましたら自由にお書きください。	○	○	○	経年比較の継続性を優先し、変更なし	県：同様の項目あり